

Young Entrepreneurs Group of
The Fukui Chamber of Commerce and Industry

YEG FUKUI



vol. **87**

発行日/平成10年7月1日発行
発行所/福井商工会議所青年部
福井市西木田2-8-1
TEL: 0776-36-8111
FAX: 0776-36-8588

発行者/田中義乃
編集者/山岸寛士

福居福居

福井商工会議所 青年部会報

CONTENTS

- インタビュー 2
ユエスコンソート代表 新保拓之氏
- The対談 4
福井新聞社社長 吉田耿介氏
- 特別企画《覆面座談会》 12
青年部活動あじたい、こうしたい!
- 誰にも聞けないパソコン用語(その1) ... 5

青年部ホームページアドレス <http://www.fcci.or.jp/fyeg000.htm/>

福井が創造の拠点です。

(有)ユーエスコンサート新保拓之氏にインタビュー

今回は、県外出身で、福井の良さを発見し、仕事上では都会と行き来していても福井に定住しておられ、また、福井の街づくりへの独特の視点をお持ちの、新保拓之さんにインタビューしました。

【新保拓之：しんぼたかし プロフィール】

1979年“DAISUKE BAND”(テイチク)にて ギタリスト、アレンジャーとして活動開始。数多くのスタジオセッション、ライブをこなす。ポリスター、キング、ソニー等のレコード会社にてプロデューサーとしても活躍。

現在福井、大阪を中心に、音楽クリエイターとして活動する“(有)ユーエスコンサート”を設立。

CM音楽、TV番組、アーティストのプリプロダクション等のデータ制作、サウンドロゴ制作等、サウンドプロデューサーとしても活躍。福井の身近なところでは、「越前時代行列」の音楽、民放TV2局の夕方のニュースタイトルも彼の作品。

《福井が好き》

●福井に来たきっかけは？

15年前、所属していたプロダクションで、演奏家と編曲家(アレンジャー)として籍をおいていました。そんな時、福井出身歌手の高橋五郎さんの担当を任せられ、東京で1ヶ月間レコーディングしました。その彼と意気投合し、担当が終わっても、1・2年交流が続いていた頃、プロダクションとの契約が切れ、休息を兼ねて遊びにいったんです。



彼はヨットマンなので、三国のサンセットビーチで毎日のようにヨットに乗せてもらい、“ボーッ”と過ごさせてもらった。その頃、バンドを組んで彼のバックをやりながらいろんな所を廻っていたんです。そんな生活が続いて、こちらに住むきっかけもでき、大阪

には未練もなかったため、そのまま居着いてしまった、ということなんです。

●福井に住もうと思ったきっかけは？

福井の女性と結婚しましたが、大阪・東京にいないと、音楽では食べて行けないのはわかっていたので悩みました。長男が生まれた時、これを機会に実家のある大阪へ戻ろうと思った。しかし、妻から、“いまさら友達もいない、勝手の分からない知らない土地には行きたくない”と言われ、よくよく考えると、大阪に比べて友達はいるし、子供を育てる環境は良いと思いました。暮らしやすいし、妻が安心していられます。(大阪の人には怒られますね)。これが最大の理由です。

●音楽の仕事は？

自分のなかでは、大阪が発信地だと思っているので、福井とつなぐために、デジタル・マルチメディアのはしりのようなコンピューターミュージックを始めました。当時は、打ち合わせ・会議が多かったので、大阪・東京を飛び廻っていた。週の半分は都会で、週末は福井に帰るといのがリゾート気分だったようで、極楽とんぼだったんですね(笑)。移動は、いつも自動車でした。

高速の米原ジャンクションを過ぎると、“あー、帰って来た”と、思った。JRでは「加越」に乗るとそう思いました。これって、あの独特の安心感みたいなものですね。そんな生活が、5～6年続きました。

●福井にいて仕事先への影響はどうですか？

東京などで、福井にいたと言うと、みんなは“山奥

にこもる芸術家や陶芸家・画家”という感じに勘違いされます(笑)。“福井県の良い土地で山奥で、アトリエかまえている”という、イメージがついてしまいました。それじゃ、それはそれで売りにしようと思ったんです。ここにいることで自分の視野が幅広くなりました。都会で根をつめて仕事すれば儲かるが、こちらは仕事が少ない分、創造するゆとりがあることで、自分を大きくする時間が出て来ると思いました。

●仕事上の不便を感じることはないですか？

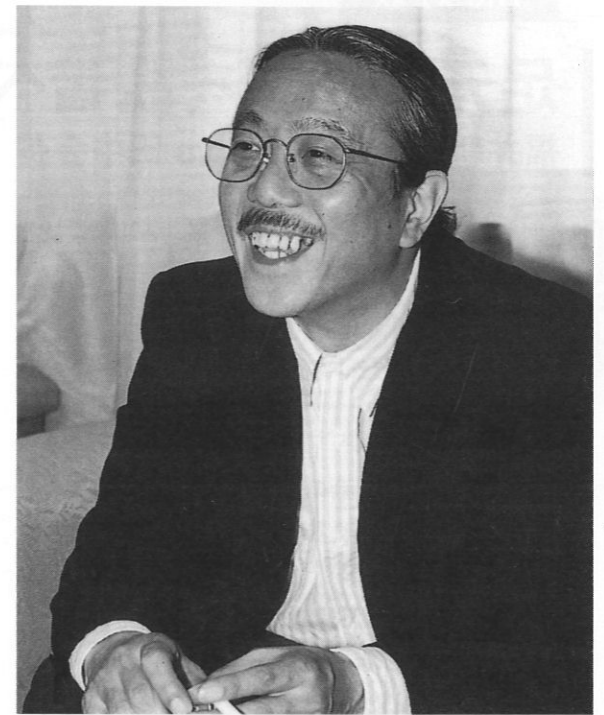
東京の人は、すごく思っているようです。“福井からですか!?”とすぐ言いますね。それが、一番悔しかった。だから、そう思われたくないで朝10時に会議だと言われれば、早朝どんなに早い出発でも絶対に遅刻しませんでした。急に決まった事でも、車を走らせて行きます。今もそうしていますが、それは、周りの人達に、不便さを感じさせないためでした。

自分はそんなに不便とってなかつたですよ。車に乗って400～500km走っても、いいストレス解消になるし、福井に帰るのも、妻・子供のもとに戻るための、米原越えというのが、一つの自分のイベントみたいになっています。

《歩き方を変えればよくなる!? 福井の街並み》

●福井の印象は？

よく年輩のご両親から、学校に行かない子供のことで相談されます。たとえば、“学校に行かず、ギターやパ



ンドばかりしている”“東京に行き、バンド組んで歌手になると言っている”と、いったことですが、福井の若い人達の作品を聞くと、都会に憧れているから都会的にならざるをえないが、福井の風土の良さが反映していない。例えば、松山千春のような、土地の風土性がにじみ出るようなイメージの子はいないですね。

●福井の街をどう思いますか？

福井の人は、非常に分かりやすい住民だと思います。新しい施設が出来るたびに、ドッと押し寄せますよね(笑)。

福井は、郊外型の街だと思います。大阪の友人にはいつも“ロサンゼルスみたいだ”と言ってます。クルマで移動すれば、コンビニとCD屋の間から山が見える雰囲気がロスに似ています。こんな見方も、おもしろいでしょう。国道8号線も、他とは違ったテーマを持った街並みにするとおもしろいかもかもしれませんね。

また、福井は、宣伝がヘタですね。マリンバやハーブは世界的に有名なもので、もっと宣伝すればいいのに、もったいないことです。

それに、福井の女性は、きれいなのに姿勢が悪い。駅前などで見かける若い人の歩く姿勢がよくないのが気になります。街行く人の歩き方がよくなって、街並み全体が暗い印象になるんですね。これが良くなれば、自然と街も明るくなるでしょう。子供のうちから姿勢をよくするように育てましょう。

今日は、ユニークな視点からのお話どうもありがとうございました。(文責：メディア委員会)

足元の情報を読者へ 福井新聞社吉田社長 vs 田中会長

今回は、福井新聞社代表取締役社長、吉田耿介氏と田中義乃青年部会長との対談を行いました。

両氏とも福井をこよなく愛し、福井で商いを行っている事で意気投合し、予定の1時間を大幅に越える対談となりました。

●田中会長：新聞は社会の公器として真実と公平を原則とするが“弱気を助く”正義はどういう形で表現されていますか？

○吉田社長：最近の新聞は読者論を中心に考えています。いかに読者と広告主を大事にするか、以前の大新聞（政治・経済）+小新聞（ゴシップ）をプラスした形を取ってゆきたいと思えます。一部を読んで判断するのはではなく、全体を見て新聞を判断して欲しいと思えます。最近の読者はかしこいですから…。

また特に、福井新聞は地方紙ですから福井の情報より中心に今後ともゆきたいと思えます。



ニューメディアは世界の情報はすぐに手元に入りますが、足元の情報は入りにくいからです。

●田中会長：新聞広告は、ある意味では文化又は時代を反映すると思えますが、その点ではいかがでしょうか。



○吉田社長：確かに一年一年時代とともに広告の主力が変わってますね。広告によってその年の文化・時代背景がわかりますね。最近の流れでは、車から通信機器そして環境関連へと中心が移っています。

●田中会長：県都福井について何かお考えがありましたら。

○吉田社長：福井新聞は“福井と運命共同体”、福井に対する想いは最高のものです。

福井がダメになって最も困るのは、福井でしか商売ができない商工業者、我々商工業者をもっとも主張すべきなんです。福井は特に商業施設の集積の高度化が必要、その点東京の集積度はすごいですね。

又、歴史の街として、浜町、大名町等旧町名を復活させたらどうですかね。横文字に頼るのはいかがなものでしょうか。

●田中会長：本日はどうもありがとうございました。

今回の対談を通じて、吉田社長の郷土福井に対する熱い想いを感じることができました。

（文責：メディア委員会）

誰にも聞けないパソコン用語 (その1)

“知らないの～”と言われたいために。

パソコンが文房具としてオフィスや家庭に浸透してきて、一昔前であれば「パソコンは難しい」とか「用語が解らない」といって済んでいたものが、誤魔化しきれなくなったとお嘆きの皆様に朗報です。

よく、パソコン用語にはカタカナが多いので解らないと言われますが、自動車用語で例えれば「アクセル」とか「ワイパー」という最低限の用語は必ず理解していなければなりませんね。

そこで、今回からこのコーナーではパソコンの利用時や、購入の際カタログを見るために最低限必要な用語について、ひらがなを交えつつQ&A形式で分かり易く説明していきます。

■ デスクトップ (Desktop)

卓上で利用するパソコンの形状をいいます。見やすく安価なブラウン管表示装置や、他の部品を組み込むことができるスペースを持った本体により、使用目的に合ったシステムが作れるようになっています。

一般的に、性能、価格ではデスクトップが優れていますが、持ち運びには断然ノートパソコンです。

また、オフィス内で利用するスタイルには、卓上に置いて使う横平型のデスクトップ型の他に、机の袖に置く縦型のタワータイプがあります。

■ DOS/V機

世界標準機であるIBM機と互換性があるパソコンという意味で使われます。米Microsoft(マイクロソフト)社の基本ソフト(MS-DOS)を日本語化したOS(DOS/V)が動く機種ということです。

特に日本ではNECのPC-9800シリーズが非互換だったため、これと区別するためにこのような呼び方が一般的になりました。最近では、NECも互換機路線のNXシリーズを出しています。

■ Windows95 (ウィンドウズ95)

DOSが、機械への命令には文字を入力するのにに対し、Windowsは、画面上の印をマウス装置を使って操作するという、使いやすさを改善した基本ソフト(OS)です。従来のDOS用ソフトもほとんど動きます。バージョン3.1から95に改良されて、なんといってもネットワーク接続、しかもインターネットへの接続機能を標準装備したことが評価されます。

今夏にはWindows98の発売が予定されていますが、Windows95の時のような劇的な変化はないようです。

また、Windowsと対峙する形で、米アップル社のマッキントッシュ(Macintosh)(通称 Mac:マックと呼ぶ)というパソコンもあります。

ワープロ等の応用ソフト(アプリケーションソフトという)は、これらのOSごとに製品があるので、購入の際には十分気を付けてください。

■ インターネット (Internet)

Windows95の登場により一躍一般的になったネットワークです。これまでのネットワーク(パソコン通信など)は特定

の相手との閉じた関係のネットワークでしたが、インターネットは、コンピュータ同士を中継しながらデータを運ぶ、公共道路ともいえるネットワークです。

国内の利用者数も1,000万人を越えたといわれ、プライベートにもビジネスにも欠かせないネットワークになりました。



■ ISDN (INSネット64)

従来の電話回線はアナログ方式のため、コンピュータ通信の際にはコンピュータからの信号を「音」の信号に変えて送るためのモデムという装置により通信をしていました。

しかし、ISDNはデジタル方式なので特にコンピュータ通信には最適で、近年のインターネット利用も相まって急速に普及してきました。

また、同時に2回線分の能力を持っているので、インターネットを利用しながら通常の電話をかけたりFAXを受けたりできるので、家庭用でも利用が激増しています。

利用にあたってはDSUとTA(ターミナルアダプタ)という機器が必要です。現在では両機能を一体にしたものが3~5万円で販売されています。

■ ホームページ (Homepage)

インターネットで情報発信をする場合、WWW(ワールド・ワイド・ウェブ)というサーバ(情報を蓄積しておくコンピュータ)を利用しますが、最近ではこの作成した情報(コンテンツ)そのものを指してホームページと呼びます。

内容はHTMLという約束事に基づいて書くことになりませんが、最近ではワープロソフト(一太郎やWordなど)やプレゼンテーションソフト(PowerPointなど)で作成したデータを、HTML形式に保存することでコンテンツが作れることから、だれにでも作れるようになってきました。

■ ブラウザ

先ほど説明したWWWサーバの情報(ホームページ)を見るための表示ソフトのことです。インターネットを利用するときには必需品です。

現在は、米Netscape社のネットスケープ・ナビゲータ(Netscape Navigator)と米Microsoft社のインターネット・エクスプローラ(Internet Explorer)の2つが有名です。

米国でMicrosoft社がWindows98と抱き合わせ販売をしようとして、司法省から反トラスト法(独占禁止法)で提訴されていることでも有名になりました。

いかがでしたか。次回も「分かり易く」を合い言葉に分野別に説明していこうと思います。

メディア委員会 堀田雅一
E-Mail: horita@fukui.hkr.ntt.co.jp

パソコンを使っている人も、使っていない人も、ハテナ?と思うこと、素朴な疑問などを、堀田さんまたはメディア委員会に是非お寄せください。紙上でお答えします。

よろしくお願いします
新入会員紹介

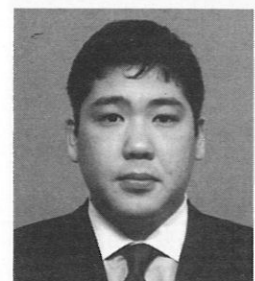
'98年3月・4月入会会員



あらし だ とおる
嵐田 徹
勤務先：アロック・サンワ㈱ リファイン福井
TEL：0776-52-2340
FAX：0776-52-2350
業種：建設業
総務委員会

O型 S39.10.23

新入会員として精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。また、住宅のリフォーム等お困りのことがありましたら一声かけてください。



い せき まなぶ
井 関 学
勤務先：㈱日之出衣裳店・マリーマリエ
TEL：0776-33-2272
FAX：0776-33-3134
業種：貸衣裳
例会・経営研修委員会

B型 S46.11.10

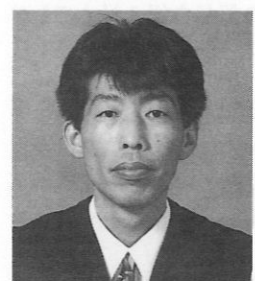
福井に来て早や6年経ちましたが、まだまだ戸惑うことばかり。この青年部で、福井のことをもっと知りたいと思います。今後ともよろしくお願いします。(貸衣裳もよろしく)



う え だ あつし
上 田 敦
勤務先：大和証券㈱
TEL：0776-22-3311
FAX：0776-21-3307
業種：証券業
例会・経営研修委員会

A型 S40.5.26

名古屋から福井に来て4年になりました。水と空気がおいしいこと、治安が非常によいことは、何にも代えがたいものだと思います。



う め だ ひろ かつ
梅 田 浩 勝
勤務先：北陸電力㈱福井支店
TEL：0776-25-8720
FAX：0776-23-1231
業種：電力業
例会・経営研修委員会

O型 S38.8.30

福井に来て早や6年経ちましたが、まだまだ戸惑うことばかり。この青年部で、福井のことをもっと知りたいと思います。今後ともよろしくお願いします。(貸衣裳もよろしく)



の むら ひで き
野 村 英 生
勤務先：㈱穴吹工務店 福井営業所
TEL：0776-30-0384
FAX：0776-26-0384
業種：建設業
総務委員会

A型 S42.12.5

皆からよく「祭りバカ」と言われます。目標は市街地の活性化のため駅近くにサーパスをつくり続けること!?



ま き やま しげ お
牧 山 茂 夫
勤務先：㈱ダイナック
TEL：0776-74-2058
FAX：0776-74-2058
業種：ホテル・レストラン
メディア委員会

A型 S31.11.10

福井に来て早や6年経ちましたが、まだまだ戸惑うことばかり。この青年部で、福井のことをもっと知りたいと思います。今後ともよろしくお願いします。(貸衣裳もよろしく)



み ず もと かず あき
水 元 一 暁
勤務先：南水元工務店
TEL：0776-27-5335
FAX：0776-27-5336
業種：建築工事一式
会員交流委員会

A型 S38.1.15

“長生きする家”自然の素材を活かした健康住宅、快適な住まいづくりを提案いたします。いつでもご相談ください。



3月例会 卒業生を送る会 (3月25日)

3月25日(水)福井ならはら温泉越前荘にて青年部恒例となりました「卒業生を送る会及びあじさい会との交流」が行なわれました。青年部からは32名、卒業生3名、あじさい会より10名の参加となりました。

平成9年度卒業は市川しげるさん、坂川優さん、柴田治是さん、福田恭太さん、道下正彦さんの5名の方々です。いずれも個性のある強者ぞろいということで、送る会も盛り上がった例会となりました。卒業証書の授与・エールの交換と続き、いずれも感動の連続



でした。また、卒業記念として“YEG福井”と染めぬいたのぼり旗をいただきました。イベント等に有効に活用したいと思います。

その後の、あじさい会との交流(懇親会)では、淡島洋あじさい会会長をはじめ数多くの青年部先輩とひざを交えた懇談ができ、一年に一度ではありますが、この交流事業の意味を感じることができました。



街づくりネットワーク研修会 (3月28日)

我が青年部は、「市民の広場」事業などで過去20年間、まちづくりについて市民と意見を交わしてまいりましたが、同様に取り組んでいる団体に連携を呼び掛けました。福井経済同友会、福井市中心市街整備推進協議会、明日の商工福井を語る会、(社)福井青年会議所と、当青年部が中心になり共通認識に立って今後も交流と連携を図りながら大きな力として、愛する郷土福井を何とか活性化させていきたいと思っております。

さる3月28日ネットワーク研修会を開催いたしました。第一部は、ジャーナリストで「地域づくり全国協議会」顧問の室井澄生氏をお招きしてご講演いただきました。室井氏は、時事通信社から自治省外郭団体の地域活性化センターを経て、昨年4月から、同協議会顧問として多くの自治体のまちづくりアドバイザーを務められています。テーマは「元気になる街づくり」と題して、各地の具体的事例を紹介しながらお話いただきました。「街づくりは人と計画・組織、そして資源の活用が不可欠。市民がどんなまちをつくりたいかを明確にする必要がある」と指摘され、「日本はどこかの駅前広場も同じ顔で個性がない。人が集まるには、戦略を立てたイベントの仕掛けが大切」と福井の活性化のヒントを色々頂きました。詳細は市民ネットワー

ク事業報告書を参照して下さい。この研修会を開催して、多くの事を学ばせて頂くとともに、お集まり頂いた行政、各団体、一般市民の方々から沢山のご意見を頂きました。

青年部では、これからも個人と団体、そして行政との接着剤としてネットワーク化を推進すべく精進して参りますので、これからも皆様方の深いご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

平成9年度
市民ネットワーク
委員会 委員長
田谷仁一



'98 桜ハートランド (4月12日)



年度がかわって青年部最初の事業となる'98桜ハートランドが、4月12日(日)足羽河原、九十九橋南詰で開催されました。青年部伝統行事となった感のハートランド事業ですが、桜の時期に行うようになって今年で三年目。足羽川河川敷の日本有数の桜並木が老化し、寿命を迎えつつある中で、市民の皆さんにも広く認識していただき、何かと維持保存していく手だてを共に考えていきましょう、というのがきっかけで実施されてきました。

今年は、地球温暖化もあってか天候が暑すぎるくらいの日々が続き、花びらの散りぎわを考えると予定を一週間繰り上げるべきかも知れないかなと、間際までハラハラさせられましたが、何とかもちこたえてくれました。

イベントの中身としては、来場者に桜並木の老朽化を知ってもらい、意見を頂戴して、今後の活動につなげていこうとする、桜パネル展、ビデオ上映、アンケートなどと、会場の色付けとなるオープニングの子供太鼓やミニコンサート、水辺でのカヌー体験等々。また、物販コーナーではさくら湯、さくら餅をふるまい、リサイクルのフリーマーケットも



開きました。盛り沢山の内容で一日和やかなムードで過ごすことができましたが、午後4時の閉会式には風足が急に強まり、桜シーズンに終わりを告げるかのように桜花を吹き飛ばし、夕暮れ時にはすっかり葉桜と化してしまいました。

片付けのあとのフォーラム in 花見では、酔いもまわるほどに会員同士のうちとけた交歓会となり、またひとつ連帯感が深まった感じがしました。

最後に、各委員会の皆さんには、全体事業のもと分担作業のご協力頂きお疲れさまでした。

まちづくり推進室 室長 三村貞二



10年度通常総会 4月例会 (4月22日)

田中義乃丸 船出は最高!

「会長は青年部の顔ですが、みなさんの代表ではありません。会員すべてのご協力のもと1年間、一生懸命、YAGをもりたてていこうと決意しております。」

4月22日、通常総会において、田中義乃丸会長のあいさつと、事業報告、決算、今年度予算と議案審議が順調に進み可決しました。平成10年度は会長のリーダーシップに会員がひっぱられ、「行動こそ時代を先駆ける青年の責務」の指針のもと、YEG全会員の今年度の活躍を予感させる総会でした。

総会終了後、4月度例会が行われましたが、これまた会長に続けとばかりに委員長が中心になり今年度の意気込みを披露。各委員会も今年を充実させるべく、決意を会員にアピールしました。

まず執行部が個々の夢と目標をまじめ?に披露したあと、吉岡委員長の進行で委員の1分プレゼンテーションを。清川委員長率いる会員交流委員会はパソコンとプロジェクターを駆使して今後の会員数減の危機について、解りやすく説明。課題はたいへん深刻なのに、会場内は大爆笑。山岸委員長はメディア委員会の計画を発表したあと委員全体でのギャグをすべらせ、場内

を沈黙の森へと…。例会経営委員会の太鼓持ち金木委員長に至っては、委員のキャッチフレーズを準備。逆に委員がとまどってしまったような…。しんがりのまちづくり推進室は三村委員長ができあがってしまい、副室長からもやじが飛び、会場内はやじの嵐と化しました。

ともあれ、やじ大歓迎のこの例会のいきおいは尋常ではなく、最後に息切れすることなくゴールできれば、この一年すばらしいYEGイヤーとなることを確信した例会でした。はあ～。

「松」記



幕末明治隊は燃えていた (4月29日) 越前時代行列奮闘記

4月にしては、暑くなった98年、今年も越前時代行列が29日に行われた。今年はNHK大河ドラマが幕末を舞台にしており、越前福井藩が頻繁に出てくるせいもあって、青年部は燃えていた。青年部の役どころは“幕末明治隊”。連夜の練習により、役柄がみなそれぞれ乗り移ったかのような迫真の演技になっていた。私は細井順子という女性役、町中練り歩くことを考えただけで気が重くなった。



しかし当日カツラをし、化粧をしているうちに、いままでは違う何かを感じた。お袋そっくりだったのである。見物の人々も青年部に暖かい声援をくれた。沿道のおばあちゃんが私に手を振ってくれた。ありがたかった。癖になりそうである。



やがて、メインステージまでやってきた。連日の猛練習の成果をここで観客のみなさんにご披露する…はずだった。しかし、録音した音声に演技を合わせるのは意外に難しく、我々としても今一つ物足りなさが残る結果となってしまった。やはり、ライブでの演技こそ一番の醍醐味であると痛感した。

参加して思うのは、やはり、まつりは参加するものであるということである。恥ずかしいということを考えていたのでは本当にまつりを楽しむことは出来ない。皆で一致団結、協力して何かに取り組むという姿勢こそこれからの時代に必要になってくるのではないかと思うのである。

清川 卓二



県商青連代議員総会 (5月16日)

去る5月16日、武生商工会議所にて、福井県商工会議所青年部連合会の代議員総会が開催され、県下7単会から代議員、会員が多数集結しました。その中で平成10年度事業計画の基本方針のポイントは以下となりました。

1. 商工会議所青年部は確固たる経営理念と実行力を持って、「生き残るための」経営戦略を目指す。
2. 単会をこえて、各会員相互の交流と連帯を図り、様々なネットワークを作り、自企業の発展そして、地域社会の発展へのヒントとして活用する。
3. 福井県商工会議所青年部連合会設立15年目である本年は、近畿ブロック大会を鯖江会主管で開催する記念すべき年でもある。単会ひとりひとりの意識向上をはかり、実りある大会にする。

また、当日は福井県商工労働部長 三輪和夫氏の記念講演が行われました。近年の商工業の動行を統計数値を使って分析、解説を加え講演され、あらためて我々のおかれた状況を再認識した次第です。

最後に、懇親会では7単会代議員が大いに盛り上がり、交流を深め閉会の運びとなりました。

吉岡 正修



5月例会「学べば発見」チョットお得なお話し (5月27日) 社会保険労務士の視点から

5月27日商工会議所国際ホールにて、5月例会「学べば発見」と題するセミナーを開催しました。講師は、我が青年部会員で社会保険労務士の橋 敏夫さんが担当しました。

「学べば発見」していただきましたか。言い訳が先になってしまいますが、テーマがない、聞いていただく方は業種・立場・企業規模など全部バラバラ、何を話してよいのやら考えあぐねてしまいました。そこでテーマを2つ、タイムリーだがちょっと眠くなる「賃金」について、と今流行っているともいえる「助成金」を用意致しました。テーマが大きすぎ、かつ短時間であったため、ちょっと駆け足になったようですが。

賃金というのはデリケートかつ奥の深い問題です。必ず経営に関わります。社員と経営者にとり、最初にして最大の関心事です。また、労務管理の根幹に関わるものです。組織、仕事の与え方、仕事の分担、能力のはかり方、社員教育、利益の分配方法etc、枚挙にいとまがありません。人事・労務すべてに影響が出ます。これをおざなりにしておけば不満が発生し「使える社員」「できる社員」から退職してゆくはずです。毎日の業務に影響はありませんが、ジワジワ効いてきます。それはあなたの職場にもあるかも。手抜きしてはいけません。今回はほんのさわりでしたが関心を持



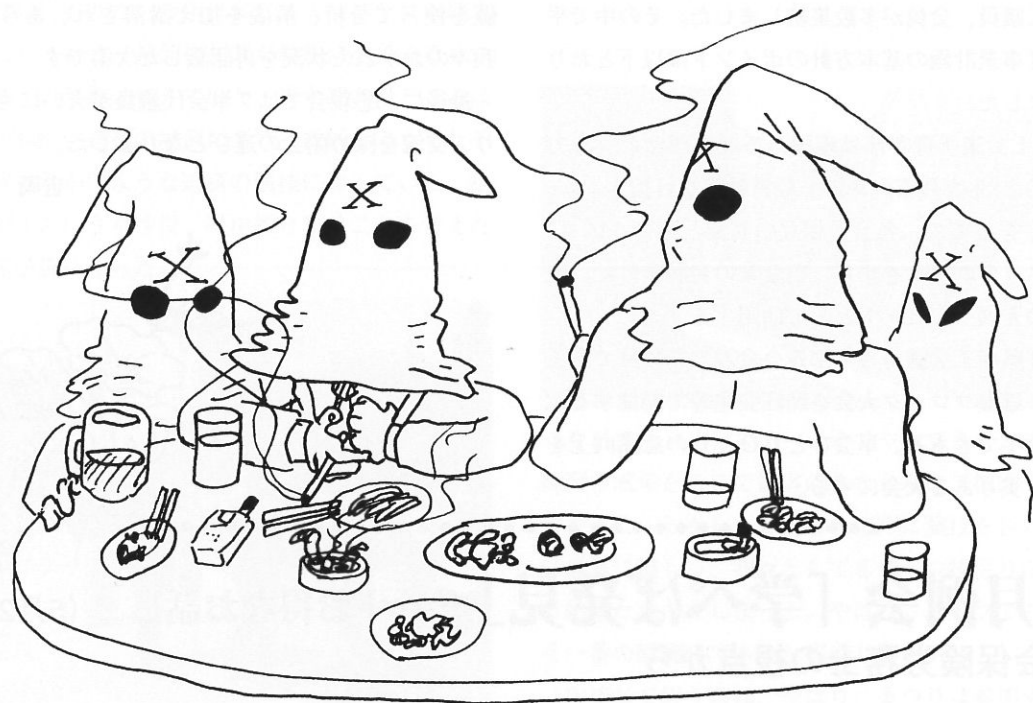
ち聞いていただけたかと思います。

次に「お得なおはなし助成金」。企業の資本は人、モノ、金、情報です。労務士の扱う助成金はすべて人に関わりがあります。労働者の雇用の安定を図り、能力を引き出すということが根底にあります。一言で言うならば労働者福祉です。企業には何らかの痛みが生じます。しかしそれを乗り越える、或いは上手に利用しさえすれば、個人の企業の労務面から見たパワーアップにつながることは間違いありません。

まだまだ不慣れでしたがいかがでしたでしょうか？今回受講なさった方、先着5名様に就業規則、賃金、助成金について無料診断致します。ご自身の会社、取引先の会社どちらでも結構です。お待ちしております。

橋 敏夫

「言いたい放題」特別企画《覆面座談会》
青年部活動 ああしたい! こうしたい!



今回は、「言いたい放題」の特別企画として、青年部のメンバーの中から、会員歴10年目の方1名・5年目の方1名・2年目の方2名の計4名にお集まりいただき、個人の氏名・会談場所などすべて明かさないと条件付きで、「今の青年部に対して言いたいこと、改善してほしいこと、期待すること」を掛け値なしの本音で大いに語っていただきました。酒の席ということもあってかなり過激な意見もとび出し、予定時間を大幅に越える3時間以上のホットな座談会になりました。誌面の都合上、その中から抜粋したものをご紹介します。

※以下、在籍10年目の方=A氏、5年目の方=B氏、2年目の方=C氏、D氏とします。

司会：本日は皆さんお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。早速ですが、まずAさん、最近の青年部について思うことをどうぞ。

A氏 そもそも、青年部とは、何のためにあるかということを知りたい。最近の活動を見ると、「街づくり」というテーマに名を借りて、イベントばかりやっているような気がする。

まず、自分を高め、自分の商売が良くなれば、ひいては街もよくなる、という考えで自分をみがく場、学ぶ場であればいいと思う。“出席しなさい”“あれしな

さい”“これしなさい”が多すぎて、自主性に欠けている。

又、会議のための会議が多すぎて実のある時間が少ない。皆の自覚で会議の回数も減らせるし、時間も短くできると思う。

C氏 みんな青年部に多くを求めすぎているのではないだろうか。一人でも多く参加でき、少しでも多く勉強できるような会であればそれでいいと思う。

街づくりについて言えば、必ずしもイベントだけが

その手段とは思わない。たとえば、お金を集めて駅前に鉢植えを置くのも一つの街づくりだ。アクションの仕方をもう少し考えないと、参加者不在の空しいイベントになりかねない。

B氏 僕はそもそも入会の動機が友だち探しだった。疑問に感じながらも数多くの会に出席し、あれこれ役目をこなし、イベントに参加することで、気軽に声をかけられる関係になれた。

しかし、組織の割には手がけている事業が多すぎるのも事実だ。“何かしたい”という気持ちはみんなあって、試行錯誤するけれど、結局イベントが一番目に見えて、結果が残るからベストという結論になるのだろうか。

D氏 僕はまだ入会して1年半だが、一番感じるのは、組織が縦型で、役員とそうじゃない人の間にかなり距離を感じるということ。

又、例会に出席しても一方的に講師の話をきくだけで、メンバーの職業・人となりなどを知る機会が持たない。横のつながりは雑談から生まれるもの。むしろ、そのあとの2次会は、仲良くなれておもしろい話もきけるので出来るだけ参加するようにしている。

(中略)

A氏 今後に向けての提案として、各委員会で定期的に青年部自由参加の勉強会を企画してはどうだろう。現在もある委員会では、2時間のうち前半1時間を使って、様々な題材の勉強会をひらき、高い出席率を上げていると聞いている。

又、岐阜高山の青年部などは、「青年部は自己研鑽の場」という考えのもと、業務をこなす委員会、勉強会を企画する委員会に分かれ、自主参加の勉強会をひらいているとのこと。

青年部はどのメンバーも自分の仕事については、他の人より専門家なのだから、何か皆に教えることができるはず。メンバーそれぞれが先生になって勉強することにより、お互いを高め合うことができるのでは。

B氏 例会・委員会・役員会のあり方についてだが…。まず、例会は2ヶ月に1回でいいと思う。その代わりA氏が言うような勉強会を作ってはどうか。

又、委員会も2ヶ月に1回程度でいい。その他必要などときにはその都度集まれば済む事。その辺は委員長のコーディネート次第。それから、役員会は原則、委員長だけでいいと思う。副委員長は必要に応じて出席すればいいのではないかと。そのようにすれば、集まる

回数も随分少なくて済むはず。

その他、ここには書き切れない沢山の意見が出されましたが、いずれも青年部をより良いものにしていくという熱い思いが感じられるものばかりでした。また次回、メンバーを変えて企画したいと思います。我こそはと思う方、メディア委員会までこっそりお申出下さい。

言いたい放題

5月27日の試合で阪神タイガース川尻投手、中日相手に通算66人目のノーヒットノーラン達成オメデトウ。バンザイ! この調子で阪神タイガース優勝イケー!

又相撲の世界では若乃花、2場所連続優勝オメデトウ。そして第66代横綱本当にオメデトウ。3代目若乃花として常に横綱という目標を持ちつづけた結果だと思ふ。そして最後にYEG会員加藤了嗣君結婚オメデトウ! 8月22・23日嫁さん連れてガラガラ山キャンプ参加してねー。待ってるぞ〜。

佐々木 清史

「囲碁のすすめ」

実は私は、趣味で囲碁をやっています。たいへんつつきが悪く、年寄りじみたゲームだと感じている方がほとんどだと思いますが、実はその中にはさまざまなことに通じるエッセンスが含まれています。ゲームとしても面白いのですが、自分の人間形成にも大きなこやしとなる間違いなし。意味の違う白黒の世界へあなたもチャレンジしてみませんか。ちなみに囲碁は、オリンピック種目の候補なのですよ。

松村 顕

私の趣味

末本 要一

私の趣味はルアーフィッシングです。だいたい休みの日には早朝から友人と九頭竜川中流域（秋からは海に）をメインに、ポイントからポイントへと駆けずりまわっています。餌釣りと違い数は出ませんが、餌では釣れない、でかい魚が釣れるのが魅力です。20~30種類の中から選んだルアーで狙いどおりのポイントで釣れたら最高です。釣れない時もよくありますが、きれいな川の流れを見るだけでも心が休まります。

釣りを通して自然の素晴らしさが身にしみて分

かります。そして、きれいな海・川が身近にある福井に暮らせて良かったと思います。しかし、残念に思うことは、海岸・河原に散らばっているゴミをみる時。そして、意味の無い税金の無駄使いと思える様な、河川改修で釣れるポイントが無くなり、もともとの自然が壊される時です。

より多くの人がずっと釣りを楽しめ、素晴らしい自然を満喫出来る様、豊かな自然を後々まで残したいと思う。

次回は三上 徹さんをお願いします。

リレーコラム

YEG 伝言板

パソコン・携帯電話、絶賛発売中。

ここ1~2年、天候の晴れが条件で土曜日又は日曜日に、近くの山歩き（登山）に出かけてます。5月は滋賀県マキノ町の三国山へ登って来ました。興味ある方は一緒に登りませんか。 <佐々木清史>

連絡先：(有)エフオーシステム
TEL：0776-25-5300

先日、トータルゲームという研修に参加しました。自分の経営スタイルに気付くため、欠点を見つけ是正するためにたいへんよい研修だと思えます。皆さんも機会があったら是非、ご参加下さい。今年は基礎固めの年ですよ。

<松村 顕>

連絡先：(株)大丸商店
TEL：0776-21-3150

私のお客様の“ワシントンホテル”の宿泊割引券あります。どうぞ気軽にご利用下さい。ご希望の方は私までご連絡下さい。

<堂越啓司>

TEL：0776-27-8381

ご結婚おめでとう!!

●加藤 了嗣さん 入籍日：平成10年5月24日
奥さま：律子さん



最近、結婚された方、お子さんが誕生された方、またそういう会員をご存じの方、是非メディア委員会までご一報ください。本誌に掲載させていただきます。

編集後記

新しくなったメディア委員会による第一弾、いかがだったでしょうか。前号までのシリーズ物は残しつつ、「言いたい放題覆面座談会」のような、思い切った企画もぶつけてみました。今後も皆さんに本音で語っていただける企画をどんどん考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

メディア委員会 副委員長 福岡 靖

福井らしさを伝えたい...

昆布菓子

雪がわら

私たちは、やさしさと思いやりを大切に、お客様に満足と感動を与えます。私たちは、働く人が夢と生きがいを持ち、共に幸せになるよう行動します。

亀屋製菓(株) 福井市栗森町15-25
TEL 0776-56-1200

●アルミ建材製造販売 ●石油・ガス ●セメント
●生コンクリート ●建材 ●電設資材

井上商事株式会社
福井市日之出2丁目1番6号 TEL0776-27-8380(代)
工場■福井工場・富山工場
給油所■マイン'KAIHOTSU・新呉服町・日之出・間屋・三の丸

夢を最初にデザインします
FUKUI COMPUTER

福井コンピュータ株式会社

建築から測量・土木にいたるまであらゆる業務をフルサポート。日本のCAD新時代をリードします。

■本社/福井県福井市高木中央1-2501
Tel 0776-53-9200 Fax 0776-53-9201

Quality Rain Gear and Clothing Since 1715



■雨合羽 ■テントリース
■テント・シート ■会場設営
■作業用手袋 ■キャンピンググッズ



Outdoor Space Creator
MORINAGA TARP CO.,LTD.

株式会社 森永防水布製品製作所
株式会社 森永装飾テント製作所

福井市順化2丁目17番19号

☎(0776)22-6150(代) FAX(0776)22-6151

メイクアップを勉強中です

98年度ミス福井グランプリ—橋本真希さんにインタビュー

今日はミス福井グランプリの橋本真希さんをゲストにお迎えして、選ばれたご感想などインタビューしました。

■相手役の山下真司さんはどうでしたか。

○橋本さん：最初は堅い感じでしたが、いろいろ気を使って頂いて、優しい人だなと思いました。

■ミス福井として福井のどんなところをPRしていきたいですか。

○橋本さん：福井は食べ物おいしいし、素晴らしい自然が残っていると思うんです。福井についていろいろ勉強してPRして行きたいと思います。

■それでは今の福井についてどう思いますか。

○橋本さん：私は免許はあるのですが、車は持っていないんです。それで移動は公共交通機関を利用しているんですが、福井は都会に比べると交通網の整備が遅れているなと思います。また、レジャー施設が少なく、休日に友達と出かけるにもワンパターンになってしまいます。もっと多様なニーズに応えられる施設があればいいなと思います。

■橋本さんのチャームポイントはなんですか。

○橋本さん：自分では笑顔が好きです。

■どんなタイプの男性が好きですか。また、どんなタイプの女性に憧れますか。

○橋本さん：男らしくてガッチリしている人です。女性では江角マキコさんのような人ですね。

■最後に、将来の夢は何ですか。

○橋本さん：学生時代にメイクアップの仕事を見てすごいと思いました。メイクすることで雰囲気がかかりと変わっていくんですね。それで、自分も人に喜びと驚きを与えるようなメイクの仕事に就きたいと思い、今美容の専門学校に通っています。

■是非、夢を実現されるよう祈っております。これからの任期、健康に留意されて、頑張ってください。今日は、どうもありがとうございました。

■まず、ミス福井に応募された動機をお聞かせください。

○橋本さん：ミス福井のパンフレットが送られて来たんです。それで親戚の方に勧められて。それに成人式のために作った着物を着る機会でもあると思って、応募しました。

■ミス福井グランプリに選ばれる自信はありましたか。

○橋本さん：いえ、選ばれると思っていませんでしたし、ミス福井の仕事のことを考えるとあまりな



りたくなかったですね。大変ですから（笑）。ただ、自分自身記念になると思いましたし、出場することで親孝行にもなるかなと思っていました。

■ミス福井に選ばれてから3ヵ月過ぎましたが、今の感想はどうですか。

○橋本さん：ミス福井の仕事の説明を受けた時は、ワァー、大変だーと思いました。だけど選ばれた以上責任を持って役目を果たすつもりです。今は少し慣れてきましたのでやる気が出てきました。

■越前時代行列はどうでしたか。

○橋本さん：時代行列が最初の仕事だったのですが、練習が1回だけだったので、セリフを間違えないかと不安でした。

